

# 合唱団ボイスフィールドにおける練習ガイドライン

2020年7月5日

合唱団ボイスフィールド マネージャー

当団では新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年3月から4ヶ月間練習を休止しました。練習再開にあたり、今後の活動を安全にかつ楽しく行うことを目的とした当団独自のガイドラインを策定することとしました。

## **練習開催の前提条件**

活動拠点である芦屋市で、公民館の利用制限などの活動を自粛する判断材料がないこと

## **練習場所の選定**

収容定員が参加人数の2倍以上であり、換気が容易に行える場所とする

## **実際の対策（今までと違う、新しいこと）**

### **事前の体調管理**

体調の悪い時は無理せず休むこと（平熱を超える発熱・嗅覚や味覚の異常・せき・倦怠感）

### **マスク等の着用**

施設の出入口や廊下など、共用の場所ではマスク等を積極的に着用（素材は問わない）  
練習中もマスク着用を推奨 額から顎下までの長さのあるフェイスシールドも可  
マスク非着用時、歌唱時の細かい飛沫は最大2m飛ぶ場合があることを考えて距離を取る

### **練習時の心がけ**

入室前に石けん20秒以上の手洗い、または施設出入口にて手指アルコール消毒を行う  
練習場への入室者の氏名を記録した入室者記録簿を作成する  
練習場への入室者の体温を確認する（係を決めて実施）  
三つの密を徹底的に避ける（合唱以外の生活場面と同じ）  
おおむね30分に1回、5分間、窓を開けるなど空気が入れ替わるような換気を行う  
楽譜の貸し借りはしない  
1列に並ぶ際は左右1.5m以上の間隔を取り、2列以上の場合前の列と重ならないようにする  
前後は2m以上の間隔を取り、マスクなしで向かい合って歌うことは避ける  
休憩時に物を食べながら談笑することは避ける

### **その他**

万が一、参加者に感染が発生した場合に備え、前述の入室記録簿は3週間保管しておく

### **参考資料**

全日本合唱連盟「合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン」  
ドイツ・フライブルク音楽家医学研究所、フライブルク大学病院、フライブルク音楽大学による、音楽の領域におけるコロナウイルス感染のリスク評価（西南学院大学神学部教授 須藤伊知郎 翻訳版）

本ガイドラインについての問い合わせ先：キャプテン 皆本礼子 info30@voice.gr.jp

以上